

## 令和6年度 後期 学校評価アンケートに関する考察

保護者アンケート(1～22)の中で、肯定的な回答が8割を下回った項目は7項目ありました。

( )の数値は令和6年度前期学校評価アンケートの結果です。

### 「学校は、安全対策に努めている。」 79. 2%(87. 6%)

大平小学校では、学校安全全体計画に基づき、毎月1回安全点検の実施、学級における安全指導、避難訓練(地震・津波・火災・不審者)や交通安全教室の実施等、児童の安全確保に努めています。また、災害時に備えて危機管理等マニュアルを毎年見直し、改訂・確認を行っています。

### 「学校は、家庭と連絡をきめ細かく行っている。(電話、連絡帳、たより)」 77. 7%(75. 3%)

連絡帳やさくら連絡網で、できる限りもれ落ちがないように連絡を行っています。御質問やお子様の気になる点、緊急の連絡に関しましては、電話で受け付けております。(電話 0479-86-3110)お気軽に御相談ください。

### 「学校は、いじめの予防や早期発見、適切な対応に努めている。」 58. 3%(58. 4%)

本校では、毎月、児童に「大平っ子アンケート」を実施しています。このアンケートで気になる回答をした児童はただちにチェックして面談を行っています。また学期に一度すべての児童と教育相談を行い、いじめの早期発見に努めています。

さらに月に1回、生徒指導委員会を設け、気になる様子の児童について職員で共通理解を図り、対応を検討しています。いじめを認知した場合は大平小の「いじめ防止基本方針」に則り、いじめ防止対策委員会を立ち上げ対策を講じています。

また、スクールカウンセラーが月に1回来校しています。その際に児童が相談できる機会があります。1階学習センター3組の前に相談箱を設置し、児童はいつでも相談事を投函できるようにしています。投函箱は毎日チェックしています。

本校では、いじめ・セクハラ相談窓口は教頭(畑)・養護教諭(小川)・生徒指導(嶋田)が担当となっています。これまでいじめの重大事案はありませんが、児童同士のトラブルは報告されています。いじめの未然防止にも十分に努め、いじめ等の事案が起こった場合は引き続き、適切な対応を行っていきます。

### 「学校は、特別な支援が必要な児童への配慮がなされている。」 65. 3%(74. 2%)

本校は111名と決して大規模な学校ではありませんが、特別支援学級を3学級開設しています。また、児童への細かい対応のため、市から配属されている支援員3名を配置しています。学期ごとに特別支援教育アドバイザーを要請し、指導方法の工夫等について職員が指導・助言を受けています。困り感を抱えている様子の児童には適宜、専門家を招き、発達検査等も実施しています。

### 「学校は、個に応じたきめ細やかな指導を行っている。」 77. 8%(68. 6%)

市の少人数指導担当が算数等の指導をチームティーチングで行っています。個別指導や少人数指導を実施している学年もあります。さらに、ICT機器の活用などを推進し、一人一人を大切にした教育を進めてまいります。

### 「児童は、望ましい食生活が身についている。」 75. 0%(77. 5%)

給食の残菜を記録し、フードロスを減らす取り組みを行っている学級もあります。給食などで苦手な食べ物も一口でも食べてみる支援や家庭科での授業をとおして食育を推進していきます。

### 「児童の通う学校に満足している。」 75. 0%(84. 3%)

引き続き、保護者の教育的ニーズに即した指導・支援や授業づくりに務め、子ども達が安心して学校生活を送れるよう支援して参ります。御家庭でも学校教育への御理解・御協力をよろしくお願いいたします。